様式第４号（第５条関係）

環　境　報　告　書

令和８年１０月報告

ふりがな	かぶしきがいしゃ　ふじさわぐみ	認定ランク	２つ星
事業所名	株式会社　藤澤組		
認定部門	☑ ゼロカーボン推進部門　☑ ごみ減量推進部門　☐ エコ・コミュニティ部門		

概　要	所在地	松本市大字島内１２６０番地１０
	代表者名	代表取締役　藤澤　正佳
	事業規模（主な事業内容・従業員数）	特定建設業　長野県知事　許可（特－8）第 258 号 主な事業内容　土木、舗装、造園、とび・土工、解体工事業 設立　昭和 31 年 8 月 6 日　資本金 5,000 万円　従業員 26 名

○　環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	参考資料「エコアクション２１：環境経営レポート２０２６年度版Ｐ．２より」 当社の環境経営方針 環境経営理念 当社の事業は、公共工事の施工を通じて、地域社会に貢献する事を使命に事業活動を行なっています。これからも、地域の発展に寄与し、地域の良好な環境を維持しつつ、地球温暖化防止対策に目を向け、環境負荷低減など全体を通じて、事業の効率化に取組み、健全な経営に反映できるよう、環境保全活動を推進します。なお、緊急災害時には当社の特性を踏まえ迅速な対応を持続していきます。
環境に関する取組目標	行動計画（環境経営レポート２０２６年度　Ｐ．２より） １．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。 ２．当社の事業活動による環境配慮の取組に努めます。 ３．経営規模に応じて、電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。 ４．一般廃棄物の削減と３R（発生抑制、再利用、再生利用）を推進します。 ５．経営規模に応じた適正な水資源の有効利用を進めます。 ６．事務用品等のグリーン購入やグリーン調達に出来る限り努めます。 ７．地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。 ８.環境経営の継続的改善を誓約します

具体的な取組内容	参照「エコアクション２１環境経営レポート２０２６年版 P.6、P.7」より 環境活動の取組み計画 ・総CO_2排出量の原単位削減 ・消費電力の二酸化炭素排出量の削減 ・自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減 ・一般廃棄物の原単位削減 ・産業（建設）廃棄物の削減（建設副産物の適正処理の確認） ・水道使用量の原単位削減 ・工事評価点の品質維持 ・事務用品のグリーン購入 ・事業活動による環境配慮の取組 ・社会貢献 活動期間中の削減目標 ＊目標値（2011年8月～2016年7月までの5期平均実績） に対して±８％
実施結果（成果）	参照「エコアクション２１環境経営レポート２０２６年版 P.5～P.7」より ・環境活動の取組みの評価（達成状況）と次年度の取組内容 ・活動期間中の実績（2025年8月～2026年7月までの累計） ・近年の消費ＣＯ２排出量の推移と分析
課題・問題点と その改善に向けた取組み	参照「エコアクション２１環境経営レポート２０２６年版 P.6～P.8」より ・環境活動の評価（結果と今後の方向） ・代表者による全体の評価と見直し
その他、 アピールポイント等	当社エコ活動の一部取組写真 参照「エコアクション２１環境経営レポート２０２６年版 P.8」より

発行：2026/10/9

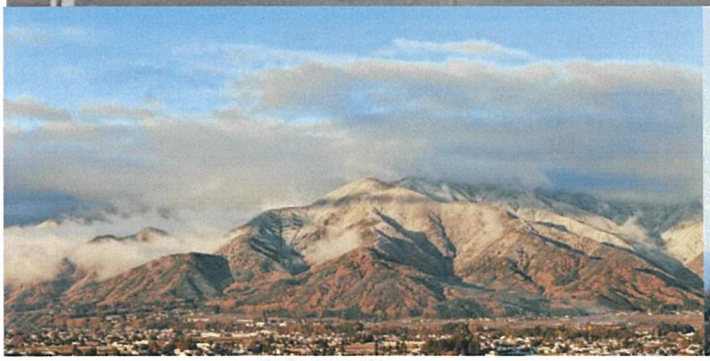
エコアクション21

環境経営レポート

2026年度

（対象期間：2025年8月1日～2026年7月31日）







総合建設業

株式会社 藤澤組

2026年度 環境経営レポート
目　　次

	項　　目	頁
1	取組の対象組織・活動 ・組織の概要 ・認証・登録の対象組織 ・事業規模	-1-
2	環境経営方針 ・環境経営理念 ・行動計画	-2-
3	活動組織 ・エコアクション21の取り組み体制	-3-
4	環境経営目標と実績 ・環境経営目標（2026～2028） ・活動期間中の目標と実績 ・近年の消費CO2の推移と分析	4・5
5	環境経営計画の取組結果と実績	-6-
6	次年度の環境経営目標及び 環境経営計画	-7-
7	法規等の遵守状況、全体の評価と見直し、指示、活動状況 ・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 ・代表者による全体評価と見直し、指示 ・環境活動の紹介	-8-

1　取組の対象組織・活動

・組織の概要

1）名称及び代表者名

株式会社　藤澤組
代表取締役　藤澤正佳

2）所在地

本社：長野県松本市大字島内1260番地10
倉庫：　同　上

3）設立

昭和31年8月6日
資本金：5,000万円

4）環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者　藤澤達哉
環境事務局　　中嶌佳代子
連絡先　TEL 0263(47)7770 /　Email info@fujisawagumi.com

5）事業内容

建設業　長野県知事 許可(特-8)第258号
許可業種　土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、
鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、
造園工事業、水道施設工事業、解体工事業

6）事業年度

当年8月1日～翌年7月31日

・認証・登録の対象組織

登録組織名　：　株式会社　藤澤組
事業活動　：　土木、舗装、造園、とび・土工工事業
認証登録範囲：全組織・全活動

・事業規模

活動規模	単位	2024年度	2025年度	2026年度
完工高	百万円	795	892	1,315
従業員	人	32	29	28
床面積(合計)	㎡	1,646	1,646	1,646

2 環境経営方針

株式会社 藤澤組
環 境 経 営 方 針

＜環境経営理念＞

当社の事業は、公共工事の施工を通じて、地域社会に貢献する事を使命に事業活動を行なっています。これからも、地域の発展に寄与し、地域の良好な環境を維持しつつ、地球温暖化防止対策に目を向け、環境負荷低減など全体を通じて、事業の効率化に取組み、健全な経営に反映できるよう、環境保全活動を推進します。なお、緊急災害時には当社の特性を踏まえ迅速な対応を持続していきます。

＜行動計画＞

１．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

２．当社の事業活動による環境配慮の取組に努めます。

３．経営規模に応じて、電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。

４．一般廃棄物の削減と３Ｒ（発生抑制、再使用、再生利用）を推進します。

５．経営規模に応じた適正な水資源の有効利用を進めます。

６．事務用品等のグリーン購入やグリーン調達に出来る限り努めます。

７．地域や関連団体の環境活動に積極的に参加します。

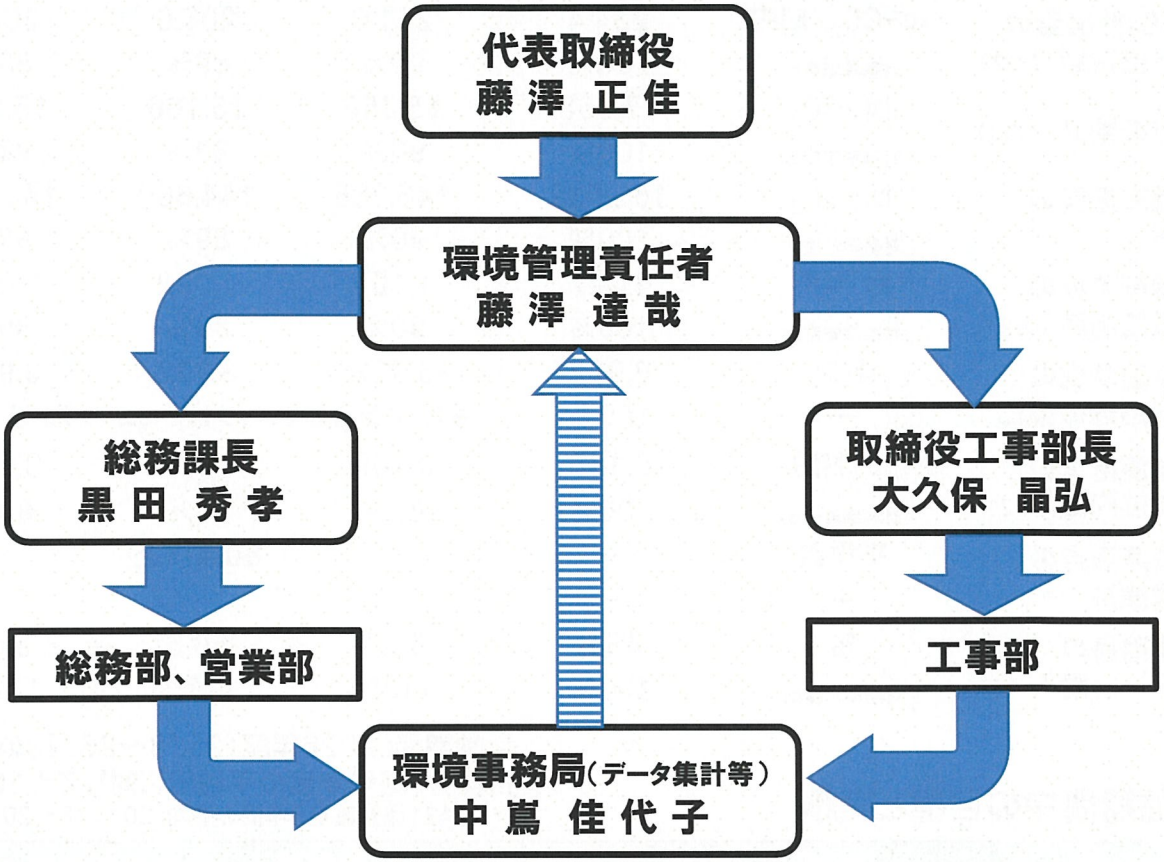
８．環境経営の継続的改善を誓約します。

制定日：２０１２年7月１０日
改定日：２０２０年6月　１日

株式会社 藤澤組
代表取締役 藤澤正佳

3 活動組織

エコアクション21の取組体制（2026年度）



担　当	役割・責任・権限
代表取締役	・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定 ・環境資源の準備・提供 ・環境経営目標、環境経営計画書の承認 ・全体の評価と見直し、指示の実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標、環境経営計画の策定 ・環境経営レポートの作成 ・環境負荷、取組の自己チェックの実施 ・全体会議で環境に関する情報の伝達 ・環境関連法規制の取りまとめ表作成と遵守評価の実施 ・外部からの環境に関する苦情や要望の対応
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境活動の実績集計
取締役工事部長／総務課長	・各部門での環境経営方針の周知 ・各部門での環境経営計画の実施状況把握と取りまとめ ・各部門での問題点の発見、是正、予防措置の事務局への報告
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・環境経営計画に従い、環境経営目標達成のために活動する

4 環境経営目標と実績

環境経営目標（2026～2028）

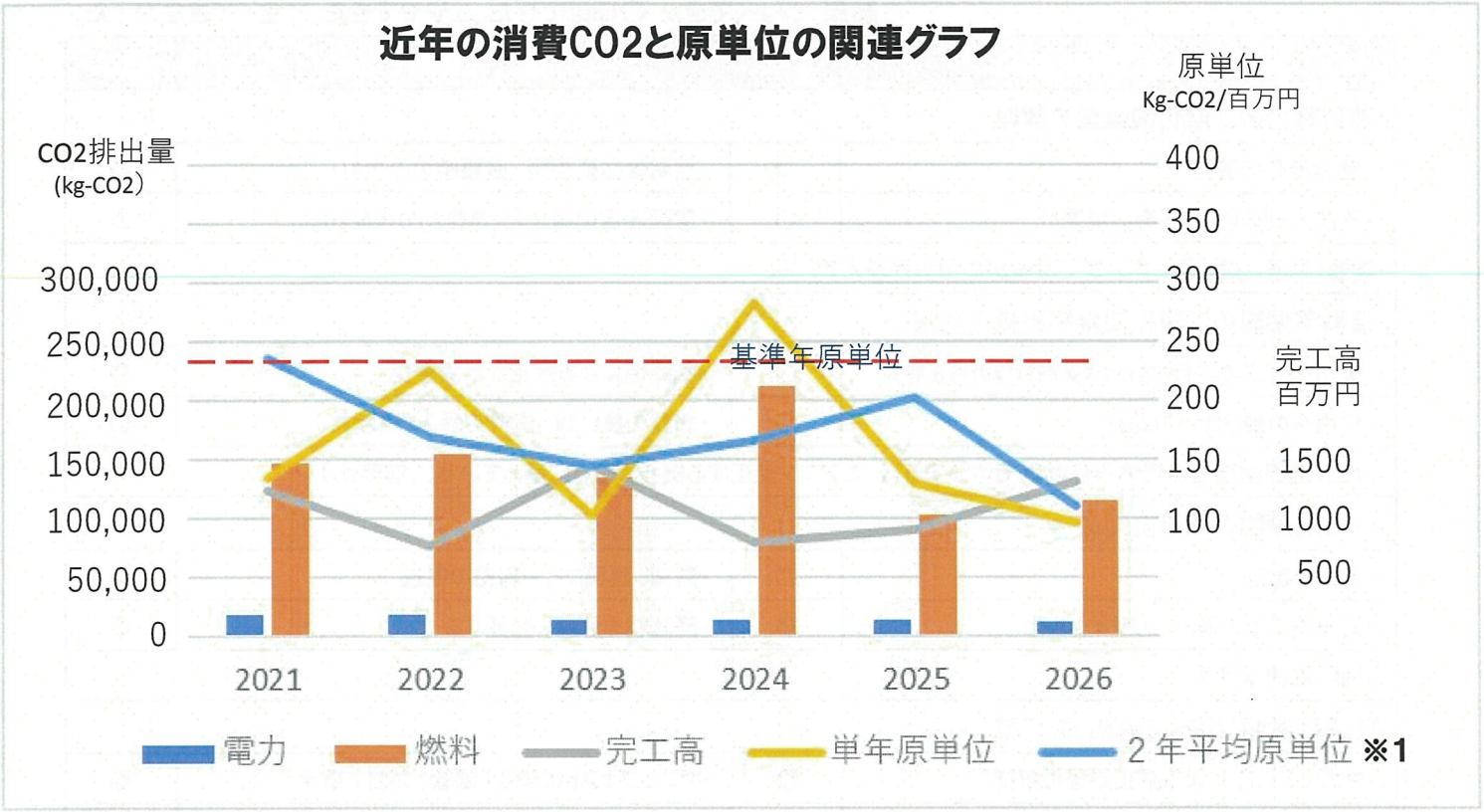
項　目		基準年度平均実績 ※1	2026年度目標	2027年度目標	2028年度目標
総CO_2排出量の原単位削減（※2）	kg-CO_2/M円	234.4	211.0	208.6	206.3
	対基準年度比	100%	90%	89%	88%
電力の削減（※3）	kg-CO_2	17,063	15,356	15,186	15,015
	対基準年度比	100%	90%	89%	88%
自動車燃料の削減	kg-CO_2	162,539	146,285	144,660	143,034
	対基準年度比	100%	90%	89%	88%
一般廃棄物の原単位削減（※2）	kg/M円	1.227	1.105	1.092	1.080
	対基準年度比	100%	90%	89%	88%
建設副産物の適正処理の確認	トン	3,922	3,922	3,922	3,922
	—	100%	あくまで参考値でメインはマニュフェスト適正管理		
水道使用量の原単位削減（※2）	㎥/M円	0.188	0.169	0.167	0.165
	対基準年度比	100%	90%	89%	88%
工事評価点の品質維持	平均点	—	80点以上		
	—	—	—		
事務用品のグリーン購入	%	45.6	50.1	50.6	51.0
	対基準年度比	100%	110%	111%	112%

活動期間（2026年度：25/8～26/7）の実績
目標値（基準年度の平均値に対して±10%）
※1 EA21開始直前5年間の平均（2011/8～2016/7）

活動期間中の目標と実績

項　目	単位	年度	目標値	実績値	対目標比率	評価
総CO_2排出量の原単位削減（※2）	kg-CO_2/M円	**2026**	**211.0**	**96.4**	**46%**	○
		2025	213.3	129.6	61%	◎
		2024	215.6	283.1	131%	△
電力の削減（※3）	kg-CO_2	**2026**	15,356	11,634	76%	◎
自動車燃料の削減			146,285	115,175	79%	◎
対象：総CO_2排出量			**161,641**	126,809	原単位で評価	
		2025	163,437	115,622		
		2024	164,892	225,094		
参考：総CO_2排出量	kg-CO_2	2026	—	144,523	対象外：灯油（暖房）を含む	
一般廃棄物の原単位削減（※2）	kg/M円	**2026**	**1.105**	**0.373**	**34%**	○
		2025	1.117	0.700	63%	◎
		2024	1.129	0.833	74%	◎
建設副産物の適正処理の確認	トン	**2026**	**3,922**	**5,408**	—	○
水道使用量の原単位削減（※2）	㎥/M円	**2026**	**0.169**	**0.027**	**16%**	○
		2025	0.171	0.050	29%	◎
		2024	0.173	0.059	34%	◎
工事評価点の品質維持	点	**2026**	**80以上**	**84**	—	○
事務用品のグリーン購入	%	**2026**	**50.1**	**57.0**	**114%**	◎
		2025	49.7	60.6	122%	◎
		2024	49.2	59.8	122%	◎

※2・・・経営規模に応じた原単位で「.../M円」は「.../完工高（百万円）」
※3・・・2019年度中部電力CO_2排出係数（0452kg-CO_2/kWh）を使用



※1 本年度と前年度の2年間の原単位の平均

推移と分析

自動車燃料は前年と比べ増えてはいるが、完工高が大幅アップしたため、原単位自体は近年で最高に良い成績となっている。
前年度の分析結果でも述べたように、2024年度から始まった工事が今年度で終了し、大きく完工高に反映できた結果ともいえる。

次年度は3か年度またがる工事の受注もあり、完工高に反映しきれない為、単年の原単位で見れば成績が悪化する事が予測される。しかし、予想される結果は会社システムの重大な問題と捉えるまで至らない事項とも判断ができる。

5 環境経営計画の取組結果とその評価

結果:◎よくできた ○ほぼできた △ややできた ×全くできなかった

環境経営計画の取組	結果	環境経営計画の取組	結果
消費電力の二酸化炭素量の削減			
・昼休み時の消灯	◎	・照明は必要個所、必要時のみ点灯	◎
・不使用時のOA機器等の電源off	○	・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	△
評価:猛暑と長い夏、寒い冬で冷暖房の機会が増えている。			
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減			
・エコドライブの励行(急がつく運転動作の防止等)	○	・車両係による適正な車両整備	◎
・現場への乗り合いの励行	○	・燃費の良い車、重機の購入(更新時)	○
評価:現場勤務者の昼休み自動車で休憩する時、エアコン使用する機会がさらに増えている。(前年比)			
一般廃棄物の原単位削減			
・分別の徹底	◎	・両面、裏面コピー利用の促進	◎
・資源物ごみの適切なリサイクル化	◎	・廃棄物を計量し記録する	◎
評価:取組は良好。			
建設副産物(産業廃棄物)の削減			
・マニュフェストによる適正処理の確認	◎	・マニュフェストの管理(保管、集計、届出)	◎
・分別徹底による資源ごみの有効利用	◎		
評価:適切な処理ができており法遵守も良好。			
水道使用量の原単位削減			
・日常的な節水の励行	◎	・水道配管の定期的な点検	○
・現場用水の井水使用の徹底	◎		
結果:水道設備の点検で異常は見受けられなかった。			
工事評価点の品質維持			
・評価項目別の分析と対応対策の考察	○		
結果:満足できるレベル。優秀工事の表彰は2年連続で受賞。			
事務用品のグリーン購入			
・再生紙、エコマーク商品の購入	○	・環境配慮型商品の購入(グリーン購入)	○
・詰め替え可能製品の使用	○		
結果:概ね良好。			
事業活動による環境配慮の取組			
・自然環境保全、動植物の保護	○	・現場での地域への貢献	○
・会社周辺の草刈り	○		
結果:取組が可能な現場は積極的に取組んでいた。			
社会貢献			
・建設業協会のボランティア活動への参加(草刈等)	○	・建設業協会の献血活動への参加	○
結果:今年度中は、中学校で職場体験の実施が無かったのが、残念である。			

6 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

総CO_2排出量の原単位削減　基準年平均の89%　208.6kg-CO_2/M円				
消費電力の二酸化炭素量の削減　基準年平均の89%　15,186kg-CO_2　:取組の為の参考目標				
取組内容	・昼休み時の消灯	継続	・照明は必要個所、必要時のみ点灯	継続
	・不使用時のOA機器等の電源off	継続	・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	継続
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減　基準年平均の89% 144,659kg-CO_2　:取組の為の参考目標				
取組内容	・エコドライブの励行(急がつく運転動作の防止等)	継続	・車両係による適正な車両整備	継続
	・現場への乗り合いの励行	継続	・燃費の良い車、重機の購入(更新時)	継続
一般廃棄物の原単位削減　基準年平均の89%　1.092kg/M円				
取組内容	・分別の徹底	継続	・両面、裏面コピー利用の促進	継続
	・資源物ごみの適切なリサイクル化	継続	・廃棄物を計量し記録する	継続
建設副産物(産業廃棄物)の削減【適正処理の管理】				
取組内容	・マニュフェストによる適正処理の確認	継続	・マニュフェストの管理(保管、集計、届出)	継続
	・分別徹底による資源ごみの有効利用	継続		
水道使用量の原単位削減　基準年平均の89%　0.167m^3/M円				
取組内容	・日常的な節水の励行	継続	・水道配管の定期的な点検	継続
	・現場用水の井水使用の徹底	継続		
工事評価点の品質維持　平均80点以上				
取組内容	・評価項目別の分析と対応対策の考察	継続		
事務用品のグリーン購入　基準年平均の111%　50.6%				
取組内容	・再生紙、エコマーク商品の購入	継続	・環境配慮型商品の購入(グリーン購入)	継続
	・詰め替え可能製品の使用	継続		
事業活動による環境配慮の取組				
取組内容	・自然環境保全、動植物の保護	継続	・現場での地域への貢献	継続
	・会社周辺の草刈り	継続		
社会貢献				
取組内容	・建設業協会のボランティア活動への参加(草刈等)	継続	・建設業協会の献血活動への参加	継続

7 法規等の遵守状況、全体の評価と見直し、活動状況

環境関連法規等の遵守確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである

適用される法規制	適用される事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物の保管・運搬・処分の委託、管理者の報告	遵　守
騒音・振動規制法	指定区域内での特定建設作業の届出	遵　守
建設リサイクル法	再資源利用・促進計画書、実施所の作成 発生の抑制、再利用・再生利用・再資源化努力	遵　守
水質汚濁防止法	工業用貯油施設の事故等の措置と届出	遵　守
大気汚染防止法	解体、改修工事に伴う「特定建設材料」の除去作業の計画書届出	遵　守
建設工事公衆災害防止対策要綱	公衆災害を防止するための要綱の遵守	遵　守
家電リサイクル法	家電4品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機）の事業所使用後のリサイクル	遵　守
自動車リサイクル法	事業所の使用済自動車のリサイクル・適正処理	遵　守
グリーン購入法	物品購入時に環境物品等の購入	遵　守
環境配慮確認書等	松本市の環境方針及び環境配慮項目を尊重	遵　守
道路交通法	道路工事における道路使用許可申請書の届出	遵　守
フロン排出抑制法	フロン類の漏洩点検	遵　守
消防法	本社社屋・倉庫の消防設備点検・結果報告書の提出	遵　守
プラスティック資源循環法	プラスティックごみの適正な分別（一般廃棄物）	遵　守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、遵守されていることを確認しました。なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し、指示

・数年度に及んだ工事も完結し、今年度の完工高は素晴らしい成績となった。それに伴い環境目標の数値も大きく改善した。当初EA21を開始してから10年以上が経過し、高齢化・少子化の影響で従業員数もその間に85％と縮小している。今現在は環境システムが充分に働き結果が結びついている状態に思える。しかし、その先はマンパワーと環境活動の均衡を予測する事が難しい。次年度以降も環境システムは現状の維持で様子を見て欲しい。

環境活動の紹介

会社周辺の草刈り



グリーンカーテン

去年に比べ、グリーンカーテンは良くできた

